

# 一般健診(企業の方)

## 健康診断の種類

お勤め先の会社によって検査の内容が異なる場合がありますが、必ず受診しなければならない項目は労働安全衛生規則等の法令で定められています。特殊な環境で労働されている方の場合は別途、特別な検査を行います。大別すると次のようなものが挙げられます。

一般健康診断  
有機溶剤等健康診断  
特定化学物質等健康診断  
電離放射線健康診断  
じん肺健康診断 など

## 一般健康診断の区分

雇入時	転職等新しい職場に入られる時
定期	お勤めの方が年1回行う健診
海外派遣	海外での就労時（海外派遣前・海外派遣後）

## 雇入時健康診断・定期健康診断の法定検査項目

既往歴及び業務歴の調査  
自覚症状及び他覚症状の有無の検査  
身長、体重、腹囲  
視力 ※色覚検査は廃止されました。  
聴力（1000Hz、4000Hzの音に係る聴力）  
胸部X線検査及び喀痰検査※喀痰はX線検査で異常がないときは省略可  
血圧の測定  
貧血検査（Hb、RBC）  
肝機能検査（GOT、GPT、 $\gamma$ -GTP）  
血中脂質検査（HDL-Cho、LDL-Cho、TG）  
※2008年度から、T-Choの代わりにLDL-Choに変更になりました。  
空腹時血糖検査 ※HbA1cに代替または同時実施可  
尿検査（尿糖、尿蛋白）  
心電図検査  
定期健康診断のうち、年齢によって省略可能な検査は以下の通りとなります。

※雇入時健診につきましては、法定上省略できません。但し、会社等の指定がある場合は別です。

※定期健康診断については、35歳未満方は簡易受診でも可能です。35歳時、40歳以上の方は省略できません。但し、35歳未満の方も会社等の指定がある場合は省略できません。

※当院では、雇入時、定期ともに法定の項目以外に 尿ウレリ、尿潜血、ヘマトクリット、血小板、白血球、HbA1c検査を標準で実施しています。

## その他の検診

定期健康診断は年齢によって省略できる項目があるため、実際には基準日の年齢によって「35歳以上」と「35歳未満」のグループに二分されます。35歳以上のグループの場合、さらに生活習慣病予防健診の位置づけから、以下のような検査をお勧めしております。

胃部X線検査（バリウム）  
大腸がん検査（便潜血検査）  
子宮頸がん検査  
痛風検査（尿酸）  
腎機能検査（クレアチニン  $\gamma$ -GTP）

# 一般健診(個人の方)

国民健康保険組合の方など、個人の方も健康診断をご受診できます。雇入れ・企業提出用の定期健診(法定による)、特殊健診等、各種ございますので、検査項目一覧表をご参照の上、ご相談ください。

## 法定検査項目一覧表

主な健診コースの検査項目となります。

□: 詳細な健診の項目(※一定の基準において、医師が必要と認めた場合に実施)・心電図・眼底検査・貧血検査

検査項目	特定健診	労働安全衛生法		
		雇入時	定期	簡易
身長	○	○	○	○
体重	○	○	○	○
BMI	○	○	○	○
腹囲	○	○	○	-
診察	○	○	○	○
血圧	○	○	○	○
視力	○	○	○	○
聴力	○	○(オーディオ)	○(オーディオ)	○(会話法)
中性脂肪	○	○	○	-
HDLコレステロール	○	○	○	-
LDLコレステロール	○	○	○	-
GOT	○	○	○	-
GPT	○	○	○	-
γ-GTP	○	○	○	-
空腹時血糖	○	○	○	-
HbA1c	○	○	○	-
尿糖	○	○	○	○
尿蛋白	○	○	○	○
血色素量	□	○	○	-
赤血球数	□	○	○	-
心電図	□	○	○	-
胸部X線検査	□	○	○	○
喀痰検査	-	○	○	-
上部消化管X線	-	-	-	-
眼底検査	□	-	-	-

## 健康診断注意事項

オプション検査などを追加した場合は別途費用が発生します。

会社指定の書式(健康診断個人票等)がある場合は、ご予約時にお申し出ください。

報告書転記代金として別途1,100円(税込)をいただきます。

ご予約時担当より当日の持参物や注意事項などご案内させていただきます。

## メリット

・健康診断は病気や異常を早期に発見し、それに対する治療を早めることができます。

これにより、病気が進行する前に対処できる可能性が高まります。

・健康診断は予防医学の一環であり、生活習慣や食事、運動などの健康促進に関するアドバイスが得られます。

これにより、将来の健康リスクを減少させることが期待できます。

・現代社会ではストレスが健康問題の原因となっています。

健康診断を受けることで、潜在的なリスクに対処でき、不安を減少させることができます。

・定期的な健康診断は、個々の健康データを蓄積し、将来の医療のために役立つ情報を提供します。

## デメリット

一般的に費用がかかります。特に高度な検査や追加の検査が必要な場合は、費用がかさむことがあります。

## ご予約受付・お問い合わせ

健診課にてご予約賜ります。

健診課予約専用電話：03-3902-2622

※午前は混雑するためお電話が繋がりにくくなっております。

お問い合わせは午後のお時間が比較的繋がりがやすいので、つながりにくい場合はお手数ですが、時間をおいてからご連絡下さい。

